+博論書式 3(論博書式 3)

平成３０年９月１０日

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分　　野	医療福祉経営学
学籍番号		院生氏名	福田　昭一

通学キャンパス	東京赤坂キャンパス
論　文　題　目	診療科別・地域別の医師数の時系列的推移と将来推計
審査結果（枠で囲む）	合格　　不合格

＜審査結果の要旨＞

１．研究の概要

近年、医師の地域偏在の問題が議論されている。提出された論文では、医師・歯科医師・薬剤師調査（以下、三師調査）のデータを用いて年齢階級別・性別・主従事先市区町村（勤務地）の地域区分別・業務の種類別（病院/診療所別の勤務先）の医師数の時系列推移について解析を行い、医師の地域偏在の実態とその要因、将来推計を行う事を目的としている。

研究では 1996 年から 2016 年の三師調査のデータについて、標榜診療科名の変更および市町村の合併に対応したプログラムにより集計を行い、30 歳代から 50 歳代の医師における過疎地域医療圏勤務や診療所勤務の比率の低下や、女性医師の増加に伴う診療所勤務医の増加などのトレンドを明らかにすると共に、過疎地域・大都市地域それぞれにおける今後 20 年の医師数の予測値を示した。

本研究は倫理的に問題はなかった。

長期間にわたるデータに基づいて診療科別・地域別の医師数の時系列的推移を示したという点に本研究の新規性があり、医師の地域偏在の解決に向けた今後の施策の検討に貢献する研究として高く評価できる。

２．審査経過

７月 25 日に初回審査を東京赤坂キャンパスにて開催した。研究の背景やデータの定義等についての質疑応答がされ、的確な回答がされた。地域区分・診療科別の解析等についての追加説明・修正を求めた。その後修正・加筆された論文が再提出され、８月 14 日に東京赤坂キャンパスにて開催した第２回審査において初回審査での指摘点を確認の上、データの限界などについての考察への加筆・修正を求めた。その結果期日までに修正・加筆された論文が再提出され、適正な修正が行われたことを全員が確認した。

３．合否結果

以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士（医療福祉経営学）の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。

論文審査担当者	主　査　　石川　ベンジャミン光一 副　査　　中村　秀一 副　査　　鹿島　晴雄